

# 福井県南条山地における放散虫化石産地ノート

## —その1— 蠅帽子川地区；熊河川地区

梅田美由紀\*・田賀秀子\*\*

Note of occurrence of radiolarian fossils in the Nanjo Massif,  
Fukui Prefecture, Central Japan

—No.1— Haiboushi-gawa Area and Kumanoko-gawa Area

Miyuki UMEDA\* and Hideko TAGA\*\*

### はじめに

本邦の中・古生界の放散虫化石の研究は、1970年代後半に本格的に始まった (Ichikawa and Yao, 1976; Nakaseko and Nishimura, 1979など)。福井県南条山地においては、1980年に最初の中生代放散虫化石 (伊藤・松田, 1980) が報告されて以来、猛烈な勢いで放散虫化石の調査・研究が進展した。1996年12月現在では、現地調査および試料採集した場所は約550地点、撮影された電子顕微鏡写真は4万枚を越えている。これらのデータの中にはすでに論文として公表されたものもある (服部・吉村, 1982; 吉村ら, 1982; 服部, 1987, 1989; 服部・阪本, 1989など) が、まだ未公開のデータも多い。その理由の一つには、実際に放散虫化石抽出作業を始めてみると、同山地のあまりにも広い範囲において、色々な堆積岩相から、非常に多くの中生代放散虫が産出するという状況があげられる。例えば最近筆者の一人田賀が、南条山地では今まであまり注目されなかったチャートに含まれる放散虫化石を特に精力的に抽出・解析した。その結果、従来無化石とされていたチャートのいくつかからも放散虫化石を得ることができた。また、南条山地の放散虫化石の抽出・解析が開始された1980年代初期には、三疊紀およびジュラ紀前期～中期の放散虫化石の研究も始まったばかりで、同山地で発見された放散虫化石に関しては、まだ未命名の化石が多く、解析作業も非常に手間どった。しかし、80年代後半からは三疊紀およびジュラ紀前期～中期の放散虫化石に関しても、研究が飛躍的に進み、それらの放散虫について記載された論文が多く公刊され、化石解析に関する情報が多数手に入るようになった。このような状況下、南条山地全体における放散虫化石の産出状況を把握する目的で、未公表の放散虫化石の写真を地域ごとに公開する。これらのデータが、今後の調査・研究の参考資料となれば幸いである。

なお、今後とも紙面の許す範囲で、同じような書式で放散虫化石データを順次掲載していく予定

---

\* 福井市自然史博物館 (〒918 福井市足羽上町147)

\*\* 福井大学教育学部地学教室 (〒910 福井市文京3-9-1)

である。これらの放散虫化石の研究には、筆者らの他に、福井大学教育学部地学教室の服部 勇先生、藤井純子氏をはじめ、江尻一位氏、服部篤彦氏、川北(現姓 東野)貴代美氏、小鍛冶 優氏、小林義尚氏、中屋義雄氏、早見敏幸氏、斎藤正直氏、阪本直樹氏、高村祐司氏らが、同先生の指導により、主に地学教室の卒業研究として集めたデータであることを付記する。また、これらの資料は福井大学教育学部地学教室(一部は名古屋大学理学部地球惑星科学教室)に保管されている。

## I. 蠅帽子川地区 (図版 1, 2, 3)

本地区は、岐阜県との県境付近に(第1図)位置する。この地域全体の地質に関する文献には、5万分の1地質図幅「荒島岳」(河合ら, 1957), 「根尾」(河合, 1964)が公刊されている。また、この地区内に分布する赤色層状チャート(“赤岩チャート”)から産した放散虫化石の最初の報告は、服部(1985)によるが、再度密度濃く試料採取し、抽出を試みた。

大野市蠅帽子川沿いおよびその西を流れる小沢川沿いの赤色珪質頁岩および赤色層状チャートより得られた放散虫化石の電子顕微鏡写真を図版 1, 2, 3 に示す。図版 1, 2 に示した化石は三畳紀を、図版 3 に示したものは前期ジュラ紀を示す。

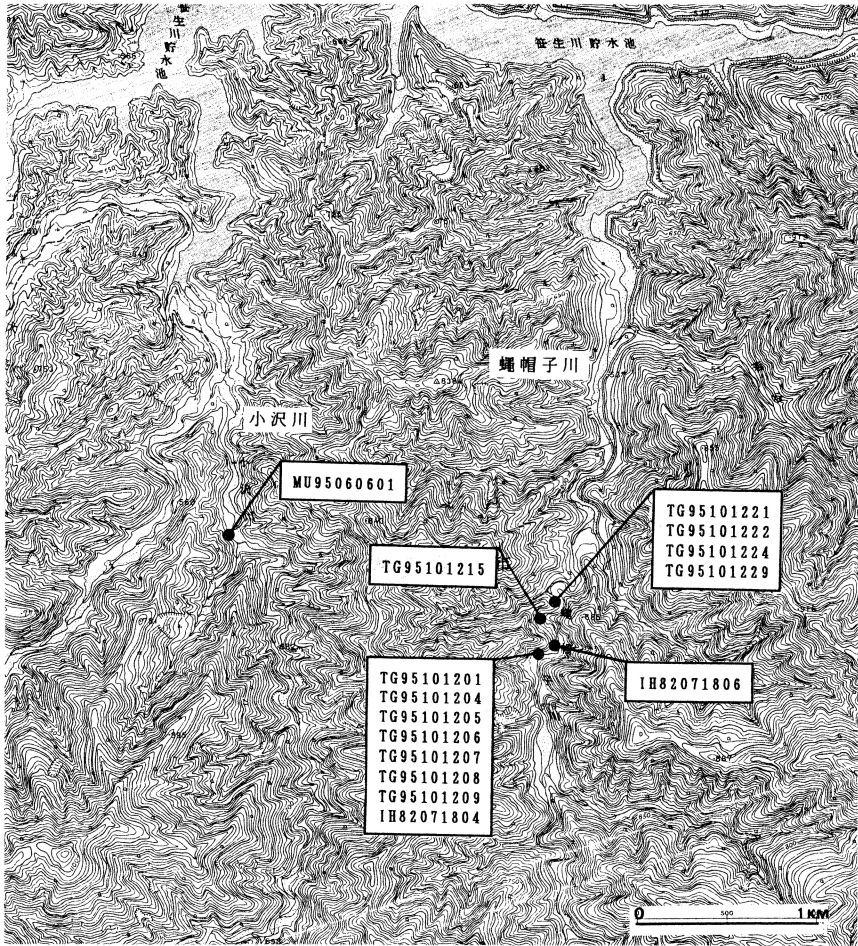
## II. 熊河川地区 (図版 4)

大野市熊河川沿いに分布する赤色珪質頁岩より得られた放散虫化石の電子顕微鏡写真を図版 4 に示す。これらの放散虫化石は保存状態はよくないが、? *Canoptum* sp. などを含み、三畳紀最末期～ジュラ紀最前期を示すと思われる。

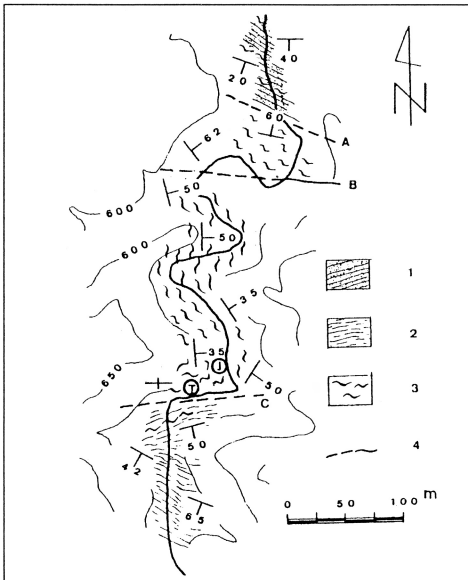
## 引用文献

- 服部 勇, 1985: 福井県真名川上流の“赤岩チャート”の放散虫年代について. *MRT Newsletter*, no.1, 7-11.
- 服部 勇, 1987: 福井県南条山地におけるジュラ紀放散虫について. 福井市立郷土自然科博研報, no.34, 29-101.
- 服部 勇, 1989: 福井県南条山地西部の3地点におけるマンガンノジュールからのジュラ紀放散虫について(資料). 福井大学教育紀要II, 39, 47-134.
- 服部 勇・阪本直樹, 1989: 福井県南条山地冠山一金草岳地域の地質とそこにおけるマンガンノジュール中のジュラ紀放散虫について. 福井市立郷土自然科博研報, no.36, 25-79.
- 服部 勇・吉村美由紀, 1982: 福井県南条山地における主要岩相分布と放散虫化石. 大阪微化石研誌, 特別号 5, 103-116.
- Ichikawa K. and Yao, A., 1976: Two new genera of Mesozoic cyrtoid radiolarians from Japan. *Micropaleontology*, 110-117.
- 伊藤政昭・松田哲夫, 1980: 美濃帯北西部南条山地から、トリアス紀-ジュラ紀型放散虫化石・トリアス紀型コノドント化石の発見. 福井市郷土自然科博同好会誌, no.27, 7-12.
- 河合正虎, 1964: 5万分の1地質図幅「根尾」および同説明書. 地質調査所.
- 河合正虎・平山 健・山田直利, 1957: 5万分の1地質図幅「荒島岳」および同説明書. 地質調査所.
- Nakaseko, K. and Nishimura, A., 1979: Upper Triassic radiolaria from Southwest Japan. *Sci. Rep. Col. Gen. Educ. Osaka Univ.*, 28, 61-109.
- 吉村美由紀・木戸 聡・服部 勇, 1982: 福井県南条山地今庄地域におけるスタイロライトチャートおよび放散虫化石. 福井大学教育紀要II, 31, 65-77.

福井県南条山地における放散虫化石産地ノート



第1図 試料採取地点／国土地理院発行2万5千分の1地形図「能郷白山」を使用



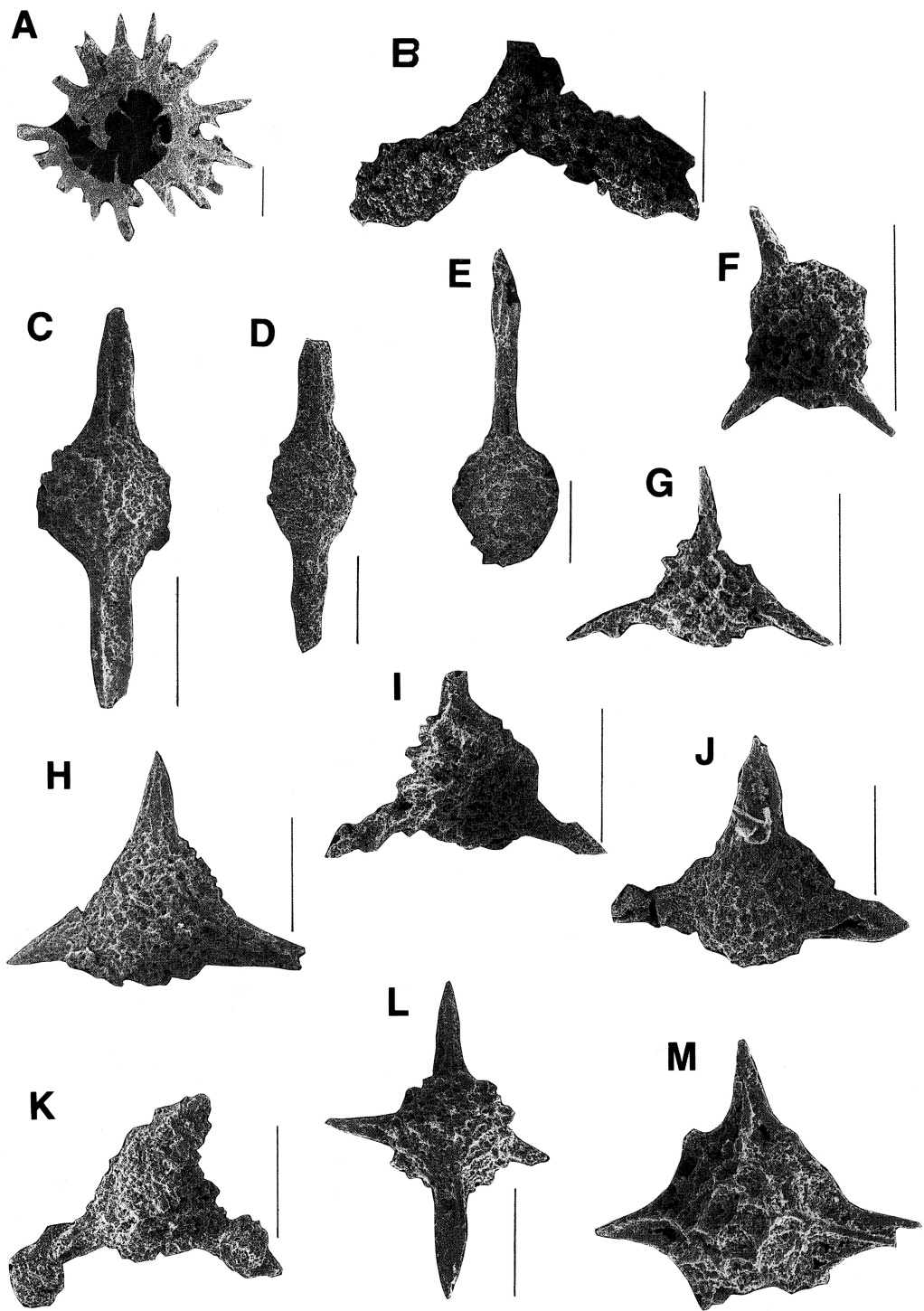
第2図 蠅帽子側沿いのルートマップ 服部(1985)より  
TはIH82071804, JはIH82071806の試料採取地点を示す。

## 図版 1

蠅帽子川地区より得られた放散虫化石の電子顕微鏡写真（スケールは0.1mm）  
化石名／産地／地点番号(F)／試料番号の順で記す。

- A : *Praemesosaturnalis* sp. / 蠅帽子川 / F535 / TG95101215  
B : *Paronaella* ? sp. / 小沢川 / FX / MU95060601  
C : *Pseudostylosphaera japonica* (Nakaseko and Nishimura) / 蠅帽子川 / F534 /  
TG95101205  
D : *Pseudostylosphaera* sp. / 小沢川 / FX / MU95060601  
E : *Pseudostylosphaera* sp. / 蠅帽子川 / F535 / TG95101215  
F : ? *Cryptostephanidium japonicum* Nakaseko and Nishimura / 蠅帽子川 / F534 /  
TG95101206  
G : *Cryptostephanidium japonicum* Nakaseko and Nishimura / 蠅帽子川 / F534 /  
TG95101206  
H : *Eptingium manfredi* Dumitrica / 蠅帽子川 / F534 / TG95101207  
I : *Eptingium japonicum* Nakaseko and Nishimura / 蠅帽子川 / F535 / TG95101215  
J : *Eptingium* cf. *E. manfredi* Dumitrica / 蠅帽子川 / F534 / TG95101201  
K : ? *Sarla* sp. / 蠅帽子川 / F535 / TG95101215  
L : *Staurosphaera* ? sp. / 蠅帽子川 / F534 / TG95101206  
M : *Tiborella* cf. *T. florida* (Nakaseko and Nishimura) / 蠅帽子川 / F534 /  
TG95101204

図版 1



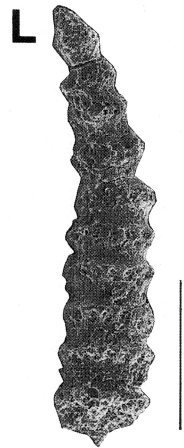
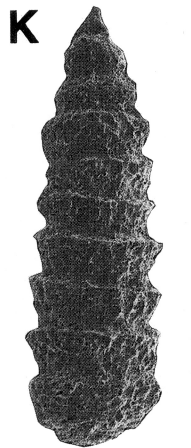
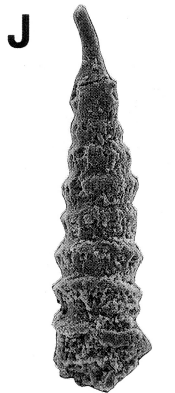
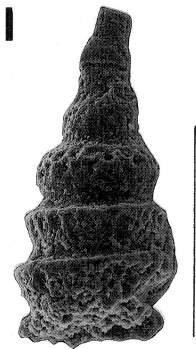
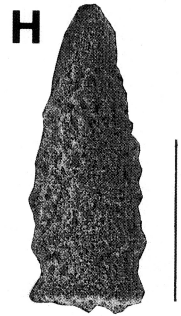
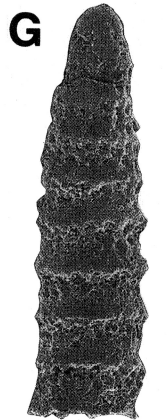
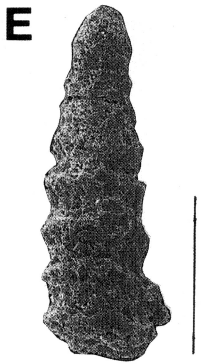
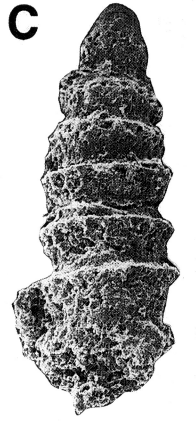
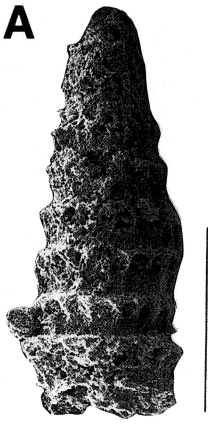
## 図版 2

蠅帽子川地区より得られた放散虫化石の電子顕微鏡写真（スケールは0.1mm）

化石名／産地／地点番号／試料番号／フィルム番号（すでに番号が付けられたもののみ）の順で記す。

- A : *Triassocampe deweveri* (Nakaseko and Nishimura) / 蠅帽子川 / F534 /  
TG95101207
- B : *Triassocampe deweveri* (Nakaseko and Nishimura) / 小沢川 / FX / MU95060601
- C : *Triassocampe myterocorys* Sugiyama / 蠅帽子川 / F534 / TG95101201
- D : *Triassocampe* cf. *T. coronata* Sugiyama / 蠅帽子川 / F534 / TG95101209
- E : *Triassocampe* sp. / 小沢川 / FX / MU95060601
- F : *Triassocampe* sp. / 蠅帽子川 / F534 / TG95101208
- G : ? *Triassocampe* sp. / 蠅帽子川 / F534 / TG95101209
- H : ? *Triassocampe* sp. / 小沢川 / FX / MU95060601
- I : *Yeharaia* sp. / 蠅帽子川 / F254 / IH82071804 / F0028
- J : *Yeharaia* ? sp. / 蠅帽子川 / F253 / IH82071804 / F0026
- K : *Yeharaia* ? sp. / 蠅帽子川 / F534 / TG95101206
- L : *Yeharaia* ? sp. / 蠅帽子川 / F534 / TG95101206

図版 2



図版 3

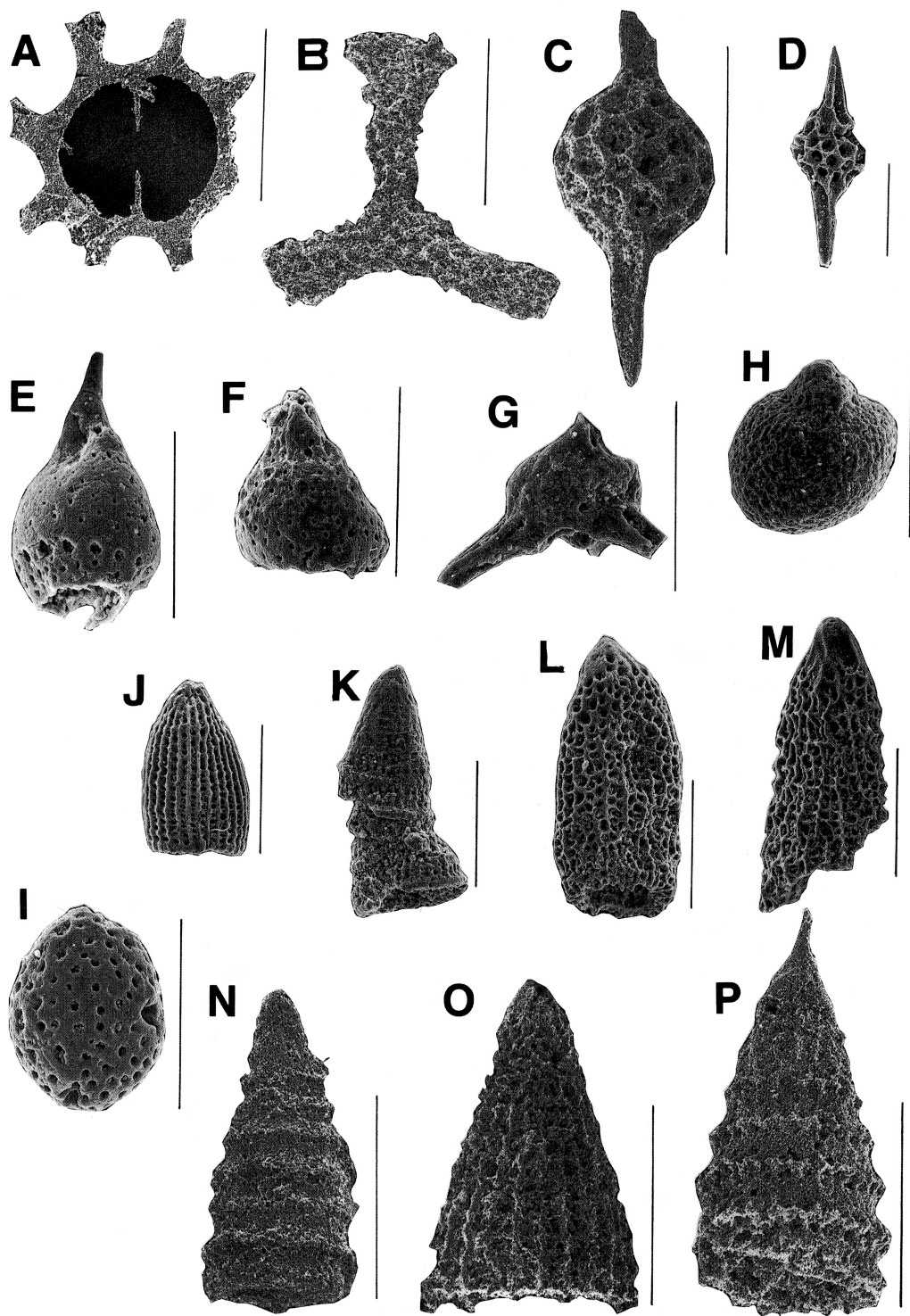
蠅帽子川地区より得られた放散虫化石の電子顕微鏡写真（スケールは0.1mm）

化石名／産地／地点番号(F)／試料番号／フィルム番号（すでに番号が付けられたもののみ）の順で記す。

- A : *Mesosaturnalis* sp. / 蠅帽子川 / F536 / TG95101224  
B : *Homeoparonaella* sp. / 蠅帽子川 / F536 / TG95101221  
C : *Pantanellium* sp. / 蠅帽子川 / F536 / TG95101222  
D : *Trillus* sp. / 蠅帽子川 / F253 / IH82071806 / 23356  
E : *Eucyrtidiellum* sp. aff. *E. unumaense* Yao / 蠅帽子川 / F253 / IH82071806 / F0049  
F : *Eucyrtidiellum* sp. / 蠅帽子川 / F253 / IH82071806 / F0045  
G : *Poulpus* sp. / 蠅帽子川 / F253 / IH82071806 / 23358  
H : ? *Tricolocapsa* sp. / 蠅帽子川 / F253 / IH82071806 / F0044  
I : *Archicapsa* sp. / 蠅帽子川 / F253 / IH82071806 / 23348  
J : *Archaeodictyomitra* sp. / 蠅帽子川 / F253 / IH82071806 / F0032  
K : *Canoptum*(?) sp. / 蠅帽子川 / F253 / IH82071806 / F0047  
L : *Droltus*(?) sp. / 蠅帽子川 / F253 / IH82071806 / F0058  
M : *Droltus*(?) sp. / 蠅帽子川 / F253 / IH82071806 / F0051  
N : *Canoptum*(?) sp. / 蠅帽子川 / F536 / TG95101221  
O : ? *Parahsuum* sp. / 蠅帽子川 / F536 / TG95101222  
P : ? *Parvicingula* sp. / 蠅帽子川 / F536 / TG95101229



図版 3



#### 図版 4

上：試料採取地点／国土地理院発行 2万5千分の1地形図「冠山」を使用

下：熊河川地区より得られた放散虫化石の電子顕微鏡写真（スケールは0.1mm）  
化石名／産地／地点番号／試料番号 の順で記す。

A：Spumellaria gen. and sp. indet.／熊河川／F423／IH86101003

B：Nassellaria gen. and sp. indet.／熊河川／F423／IH86101003

C：*Canoptum* sp.／熊河川／F423／IH86101003

D：？ *Canoptum* sp.／熊河川／F423／IH86101003

E：？ *Canoptum* sp.／熊河川／F423／IH86101003

F：？ *Canoptum* sp.／熊河川／F423／IH86101003

図版 4

